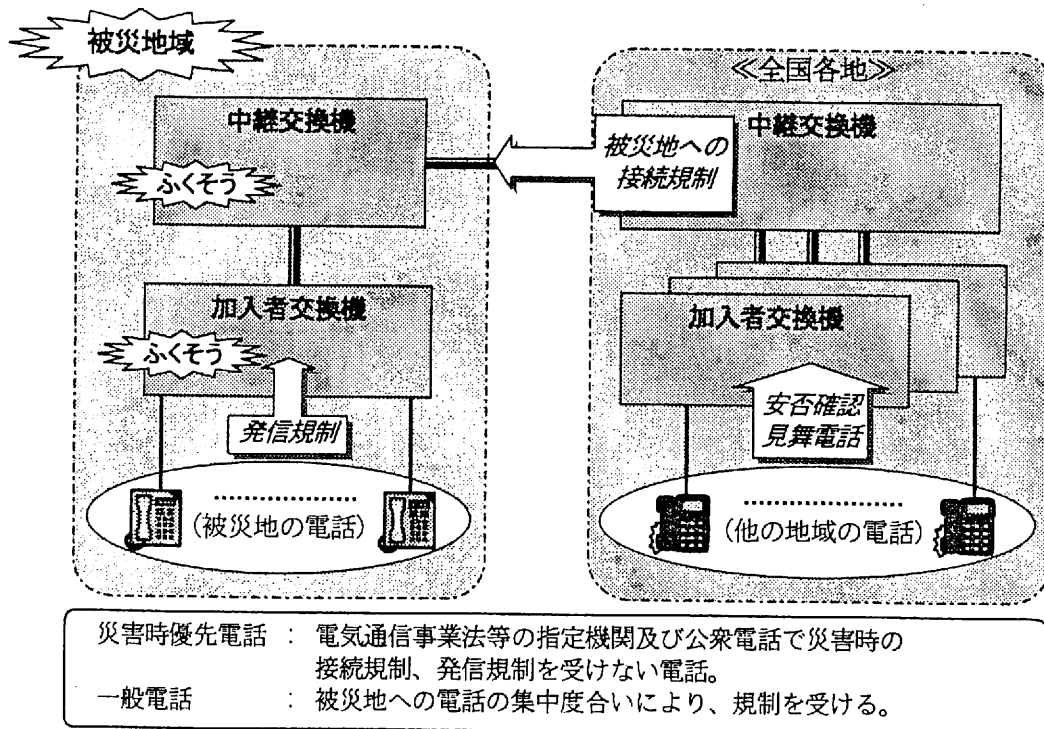


(質問) 災害時、電話がつながりにくくなるのは何故ですか。

(回答)

地震や噴火などの災害が発生した場合、全国から「安否の問い合わせ」や「お見舞いの電話」が被災地域に殺到したり、被災地域内でも電話を一斉に使用するため、全国から被災地への電話や被災地から発信する電話が共につながりにくくなります。

これは、通信設備（回線や交換機）の許容量を越える電話が殺到することにより、電話の渋滞現象“ふくそう”が発生するからです。このような状態が発生すると、交換機は自動的に通話規制を行い、公共機関（学校・公民館等）の電話や公衆電話等を優先的につなげるようにします。



【災害時のお願い】

- 1) ラジオ・テレビの情報に注意し、緊急通話以外の電話はしばらくお控えください。
- 2) 地震などで受話器が外れていないかご確認ください。
外れていると、交換機が作動し“ふくそう”の原因となります。
- 3) 電話がつながりにくい場合、続けてダイヤルするのは避けてください。
ダイヤルするほど、ますますつながりにくくなります。
- 4) 電話がつながった場合、待っている人のことを考え通話は手短かにお願いします。

(問い合わせ先)

連絡先: 東日本電信電話株式会社 山梨支店
担当: 災害対策室
電話: 055-254-9967
FAX: 055-255-6098
E-mail: saigai@yamanasi.east.ntt.co.jp
ホームページ: <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/hansin/hansinTop/hansin.html>